

「あさイチ」(NHK)での報道について

本学、健康福祉学部福土政広研究室で分析しました放射エネルギーについて、皆様に不十分な結果を公表したことについてお詫び申し上げます。

この度の分析は、NHK「あさイチ」から「日本列島・食卓まるごと調査」(10月17日放映)への協力依頼を受けたものです。

最初の調査結果で、4件の試料からセシウム134、1件の試料からセシウム137が検出されました。ただし、検出された放射エネルギーは規制値※を大幅に下回るものでした。

放送後、セシウム134の検出に関してご指摘をいただき再検証した結果、セシウム134は他の自然放射性核種との誤認であることが確認され、その原因が装置の一部の不具合によるものと判明いたしました。

その後、装置を修理し、他の試験機関とクロスチェックすると共に再校正を実施した結果、セシウム134が検出された4件につきましては検出限界以下となりました。また、セシウム137につきましては、検出限界(5.2Bq/kg)以上の 8.5 ± 1.9 Bq/kgでありました。

これらの数値の違いにつきましては、装置の劣化とそれに伴う調整ミスとの結論に達しました。

今後、このようなことが起きないように装置の点検はもとより、分析結果のチェック体制を整え、結果の公表につきましては、さらに慎重を期してまいります。

平成23年11月29日

首都大学東京健康福祉学部 学部長 木下正信

※ 放射性セシウムの規制値(セシウム134,137)

- ・ 飲料水、牛乳、乳製品 200Bq/kg
- ・ 野菜類、穀類、肉、卵、魚、その他 500Bq/kg